

## 第 83 回資金管理業務諮問委員会 議事録

1. 日時:2018 年 12 月 14 日(金)10 時 00 分～11 時 40 分
2. 場所:公益財団法人自動車リサイクル促進センター 第 1・第 2 会議室
3. 出席者:細田委員長、大石委員、織委員、鬼沢委員、菅原委員、村上委員、山下委員  
以上 7 名  
その他 経済産業省・環境省担当官、公益財団法人自動車リサイクル促進センター役職員が出席
4. 議題:①2018 年度第 2 四半期の概況【報告事項】  
②2018 年度第 2 四半期の決算【報告事項】  
③2018 年度第 2 四半期の運用実績【報告事項】  
④「東京グリーンボンド」の取得について【報告事項】  
⑤特預金の新たな活用についての検討【諮問事項】 ※非公開  
⑥ユーザー理解活動の取組状況【報告事項】

### 5. 議事録

#### (1)議題①について

2018 年度第 2 四半期の概況について、事務局から資料「第 83 回 資金管理業務諮問委員会」の 3～4 ページにて報告した。

#### <主な意見>

なし

#### (2)議題②について

2018 年度第 2 四半期の決算について、事務局から同資料の 5～11 ページにて報告した。

#### <主な意見>

##### 【委員A】

新たに取得した債券の利回りと払渡し等に付す利息の利率との間に差があるのは、預託と払渡し等の間にタイムラグがあるためか。

##### 【事務局】

そのとおりである。現在、新たに取得した債券の利回りは低いため、払渡し等に際しても低い利率が適用されることになる。

##### 【委員B】

資金管理料金収支に関して、前年同期比で33百万円増加した主な要因として「2019年5月のデータセンター切替えにあたり、システム改修を抑制したこと」を挙げているが、以前にも同様の理由でシステム改修を抑制したことはあるのか。

**【システム部】**

これまでも大規模なシステムの変更を行う前は、一時的にシステム改修を抑制した。

**【委員A】**

大規模なシステムの変更を行う場合は、費用の節約の観点から支障の生じない限りでシステム改修を抑制することは一つの賢明な方法である。

(3) 議題③について

2018年度第2四半期の運用実績について、事務局から同資料の12～14ページにて報告した。

<主な意見>

なし

(4) 議題④について

「東京グリーンボンド」の取得について、事務局から同資料の15ページにて報告した。

<主な意見>

なし

(5) 議題⑥について

ユーザー理解活動の取組状況について、広報・理解活動推進部から別冊「(報告)ユーザー理解活動の取組状況」にて報告した。

<主な意見>

**【委員C】**

エコプロ2018でのメディア取材映像を、JARCウェブサイトにも掲載することはできるのか。

**【広報部】**

メディアの了解を得てJARCウェブサイトにも掲載する予定である。

**【JARC理事】**

地方イベントに出展し、その取組みが地域の新聞紙面に掲載されることで情報が拡散することとなり、自動車リサイクルの認知が広がることとなる。これに加えて、JARC再資源化支援部による全国各地域の自治体との連携した取組みと、この広報部の活動とがコラボレーションすれば、シナジー効果が加速するのではないかと考える。

**【委員A】**

他の活動とコラボレーションするなど、さらにシナジー効果が出るようにしてもらいたい。

**【委員B】**

小学生新聞を活用した取組みは今後も継続するのか。

**【広報部】**

今後も継続して取り組む。

以上